



4年目のよんきゅうう絆プロジェクト

北野中学校 北野 正成

例年に比べて梅雨入りが大幅に遅れ、梅雨明けの予想も7月21日前後のようなです。水不足が心配される令和元年の夏休みがいよいよ始まります。保護者・地域の皆様には、日頃より学校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年の自然災害・今年度の人為的災害、日常生活の中で何が危険で、どのように対応したらよいかということを根底から覆していく災害、事件や事故が起こっています。各小中学校が保護者・地域と協力して、令和の【安心・安全な学校】を再構築する時期なのかもしれません。

ところで、平成28年度よりスタートした4つの中学校と9つの小学校が協力して小中一貫教育を進める取組「よんきゅうう絆プロジェクト」が今年で4年目となりました。これまで3年間に取り組んできた具体的な実践が持続可能な取組になるよう、さらに進めてまいりますので、今後ともお力添えくださいますようお願い申し上げます。

各部会の活動内容

学力向上部会



学力向上部会では、昨年度に引き続き、小中交流授業研究会・学びの約束・家庭学習の手引きの3本柱で進め、これまでに作成した「学びの約束」や「家庭学習の手引き」をそれぞれの学校で活用し、「9年間の学び」「主体的、対話的で深い学びを目指した授業づくり」を充実させることで子ども達に力をつけると考えています。6月には、小中での授業研究会を行い、9年間を通して子どもたちの課題解決力とコミュニケーション力を向上させることを目標に、小中のつながりを意識した話し合いを行いました。

英語部会

今年度で4年目を迎える英語部会の取組としては、「よんきゅう会 英語スタンダード」を今年度も継続しつつ、内容をさらに充実したものになるよう、検討・改善をしています。今年度の各取り組みを小学校・中学校で分担し、担当校が英語部会に実施事項や検討事項を提案し、議論しています。また、小学校の英語授業での取り組みが、中学校への接続の部分でどのように効果的になっているか、アンケートの実施・分析を実施したり、研究授業や外部講師の講話なども実施したり、など、スタンダードの取り組みに付随したものも併せて、授業全体の向上をはかるとともに、小中英語接続の観点においても、充実したものになる工夫を重ねています。



生活向上部会

生活向上部会では7月29日、北野中学校において「4中9小 児童会・生徒会交流会」を開きます。この会議では、小中各校の児童会・生徒会の代表者が集まり、4中9小全ての児童生徒が共通して実践できるようなキャッチフレーズを考え、新たなポスターに掲載します。

また、それまでに各中学校ブロックにて事前に交流も行います。

たくさんのアイディアを出さなくてはいけませんが、みんなの心に残るような素敵なキャッチコピーが出来上がるよう頑張りたいと思います。



教務部会【小中夏季合同研修会に向けて】

教務部会では、8月21日（水）に行われる小中夏季合同研修会について計画を進めています。

午前中は、立命館大学大学院教職研究科長・文学部教授 春日井敏之氏を講師としてお招きして、「子どもの願いと教師の指導・支援一いじめ・不登校、チーム学校を切り口にー」という演題で小中一貫教育について講演していただき、午後からは各部会に分かれて協議を行う予定です。

今回で3回目を迎える研修会を通して、今まで以上に「よんきゅう」が連携して取り組んでいければと考えています。



道徳部会

小学校では昨年度から、中学校では今年度から「道徳の時間」が教科化され、「特別の教科 道徳」となりました。道徳科では、主たる教材として教科書を使って授業を行い、通知票には生徒の学習状況や道徳に係る成長の様子を文章で記述します。これを受け、よんきゅうの道徳教育部会では、13校が協働して小・中学校の課題を共有し、授業交流や情報交換を通して各校での授業改善を図ってきました。

昨年度の夏季合同研修会では、各ブロックの共通した課題である「教科書（教材）・ノートの扱い方」、「授業（指導方法）」、「評価のあり方」について討議し、改善策を含め意見交流することができました。今年度も、小・中の垣根を越えて、公開授業を参観し、授業研究に取り組むことで、道徳科の指導の充実を推進しています。さらに、夏季合同研修会では、模擬授業や研究協議を通して相互の交流を深めることで、今後の道徳教育の推進につなげていきたいと考えています。

